



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場会社名 モリ工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5464 URL <http://www.mory.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)森 宏明

問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)濱崎 貞信

TEL 06-4708-1271

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	29,843	5.1	2,543	6.0	2,756	8.9	1,763	5.4
26年3月期第3四半期	28,385	1.6	2,399	60.2	2,531	62.2	1,673	58.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,355百万円(8.0%) 26年3月期第3四半期 2,180百万円(97.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	42 60	—
26年3月期第3四半期	40 40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	46,746	29,786	63.4	716 22
26年3月期	44,423	27,968	62.7	672 18

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 29,650百万円 26年3月期 27,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5 00	—	5 00	10 00
27年3月期	—	5 00	—		
27年3月期(予想)				5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.1	3,300	△0.1	3,400	△1.3	2,300	△1.7	55 55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	41,407,404株	26年3月期	41,407,404株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	8,382株	26年3月期	999株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	41,403,722株	26年3月期3Q	41,422,760株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
4. 補足情報	P. 8
<参考資料>	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動もあり、先行きの不透明な状況で推移いたしました。当社グループの属しておりますステンレス業界は、主原料であるニッケル価格の円安による上昇また電力料など諸経費の値上がりに対応すべく、前期末より製品価格の値戻しを進めてまいりました。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、製品価格の上昇などにより298億43百万円(前年同期比5.1%増)となりました。収益面におきましては、製品価格の上昇、材料価格上昇に伴う在庫評価の好転、円安による為替差益などにより営業利益は25億43百万円(前年同期比6.0%増)、経常利益は27億56百万円(前年同期比8.9%増)、四半期純利益は17億63百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

売上高を部門別にみてまいりますと、

ステンレス管部門では、自動車用は微増でしたが、配管用の健闘により売上高は138億38百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

ステンレス条鋼部門では、売価の改善により売上高は82億78百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

ステンレス加工品部門では、ガス機器用は好調でしたが家庭用金物製品は消費税率引き上げの影響から抜け切れず不振で、売上高は16億69百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

鋼管部門では、建設仮設材用が好調を維持しているため売上高は37億74百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

その他部門では、パイプ切断機と自転車の販売は好調であったため売上高は22億82百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

(製品部門別売上高比較表)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)		前連結会計年度 (自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
ステンレス管	13,167	46.4	13,838	46.4	18,147	46.3
ステンレス条鋼	7,955	28.0	8,278	27.7	11,138	28.4
ステンレス加工品	1,772	6.3	1,669	5.6	2,386	6.1
鋼 管	3,329	11.7	3,774	12.6	4,592	11.7
そ の 他	2,161	7.6	2,282	7.7	2,920	7.5
合 計	28,385	100.0	29,843	100.0	39,184	100.0

※ 報告セグメントが1つでありますので製品部門別に区分して記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は467億46百万円となり、前連結会計年度末に比べて23億23百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、受取手形及び売掛金の減少1億53百万円、たな卸資産の増加16億18百万円、有形固定資産の増加10億13百万円などであります。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加12億86百万円、短期借入金の減少5億92百万円、未払法人税等の減少5億25百万円、長期借入金の増加3億37百万円などであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は297億86百万円となり、前連結会計年度末に比べて18億18百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が12億29百万円増加したことに加え、その他の包括利益累計額が5億92百万円増加したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント上昇し、63.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、平成26年5月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が172百万円増加し、利益剰余金が112百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,199	2,115
受取手形及び売掛金	12,800	12,647
たな卸資産	8,593	10,211
その他	659	528
貸倒引当金	△21	△14
流動資産合計	24,231	25,489
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,678	7,886
その他(純額)	7,387	8,193
有形固定資産合計	15,066	16,079
無形固定資産		
その他	26	25
無形固定資産合計	26	25
投資その他の資産		
その他	5,108	5,161
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	5,099	5,152
固定資産合計	20,192	21,257
資産合計	44,423	46,746
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,740	9,026
短期借入金	1,611	1,019
未払法人税等	791	266
引当金	399	144
その他	1,534	2,128
流動負債合計	12,078	12,584
固定負債		
長期借入金	1,800	2,137
役員退職慰労引当金	396	375
退職給付に係る負債	1,259	1,064
長期リース資産減損勘定	577	410
その他	342	387
固定負債合計	4,376	4,375
負債合計	16,454	16,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,705	7,705
利益剰余金	11,882	13,111
自己株式	△0	△3
株主資本合計	26,948	28,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	551	848
為替換算調整勘定	403	677
退職給付に係る調整累計額	△71	△49
その他の包括利益累計額合計	884	1,476
少数株主持分	136	135
純資産合計	27,968	29,786
負債純資産合計	44,423	46,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	28,385	29,843
売上原価	21,853	23,137
売上総利益	6,532	6,706
販売費及び一般管理費	4,133	4,162
営業利益	2,399	2,543
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	53	42
持分法による投資利益	81	13
為替差益	41	194
その他	35	34
営業外収益合計	216	287
営業外費用		
支払利息	33	25
売上割引	33	34
その他	17	13
営業外費用合計	84	74
経常利益	2,531	2,756
特別利益		
固定資産売却益	-	27
投資有価証券売却益	0	19
特別利益合計	0	46
特別損失		
固定資産除却損	2	44
投資有価証券売却損	-	0
特別損失合計	2	44
税金等調整前四半期純利益	2,529	2,758
法人税、住民税及び事業税	721	780
法人税等調整額	146	235
法人税等合計	867	1,015
少数株主損益調整前四半期純利益	1,662	1,742
少数株主損失（△）	△11	△21
四半期純利益	1,673	1,763



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,662	1,742
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	357	296
為替換算調整勘定	162	206
退職給付に係る調整額	-	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	88
その他の包括利益合計	518	612
四半期包括利益	2,180	2,355
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,175	2,356
少数株主に係る四半期包括利益	4	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

〈参考資料〉 別紙

— 以上 —

<参考資料>

平成27年1月30日  
モリ工業株式会社

平成27年3月期 第3四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 H26. 3. 末	当四半期末 H26. 12. 末	増 減		前期末 H26. 3. 末	当四半期末 H26. 12. 末	増 減
流動資産	24,231	25,489	1,258	負債	16,454	16,960	506
現金及び預金	2,199	2,115	△84	支払手形及び買掛金	7,740	9,026	1,286
受取手形及び売掛金	12,800	12,647	△153	未払法人税等	791	266	△525
たな卸資産	8,593	10,211	1,618	引当金	796	519	△277
その他	638	514	△124	有利子負債	3,421	3,163	△258
固定資産	20,192	21,257	1,065	退職給付に係る負債	1,259	1,064	△195
有形固定資産	15,066	16,079	1,013	長期リース資産減損勘定	577	410	△167
土地	7,678	7,886	208	その他	1,867	2,509	642
その他	7,387	8,193	806	純資産	27,968	29,786	1,818
無形固定資産	26	25	△1	株主資本	26,948	28,174	1,226
投資その他の資産	5,099	5,152	53	資本金・資本剰余金	15,065	15,065	0
投資有価証券	4,143	4,376	233	利益剰余金	11,882	13,111	1,229
その他	956	776	△180	自己株式	△0	△3	△3
				その他の包括利益累計額	884	1,476	592
				少数株主持分	136	135	△1
資産合計	44,423	46,746	2,323	負債・純資産合計	44,423	46,746	2,323

2. たな卸資産回転月数 (期末たな卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前四半期	当四半期	増 減
たな卸資産回転月数	2.86	3.08	0.22

3. 有形固定資産の内訳

(単位：百万円)

日 本	インドネシア	合 計
13,858	2,221	16,079

4. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
1,013	1,434	685	50	314
日 本 ( 417)	( 1,077)	( 610)	( 50)	( -)
インドネシア ( 596)	( 357)	( 75)	( -)	( 314)

5. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 H26. 3. 末	当四半期末 H26. 12. 末	増 減
①有利子負債	3,421	3,163	△258
②現預金等換金性のもの	3,221	2,900	△321
実質有利子負債①-②	200	263	63

6. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 25.4-25.12	百分比 %	当第3四半期 26.4-26.12	百分比 %	増減
売上高	28,385	100.0	29,843	100.0	1,458
売上原価	21,853	77.0	23,137	77.5	1,284
売上総利益	6,532	23.0	6,706	22.5	174
販売費及び一般管理費	4,133	14.5	4,162	14.0	29
営業利益	2,399	8.5	2,543	8.5	144
営業外収益	216	0.7	287	1.0	71
受取利息	4		2		
受取配当金	53		42		
持分法投資利益	81		13		
為替差益	41		194		
その他の	35		34		
営業外費用	84	0.3	74	0.3	△10
支払利息	33		25		
売上割引	33		34		
その他の	17		13		
経常利益	2,531	8.9	2,756	9.2	225
特別利益	0	0.0	46	0.2	46
固定資産売却益	—		27		
投資有価証券売却益	0		19		
特別損失	2	0.0	44	0.2	42
固定資産除却損	2		44		
投資有価証券売却損	—		0		
税引前四半期純利益	2,529	8.9	2,758	9.2	229
法人税等	867	3.0	1,015	3.4	148
少数株主利益	△11	△0.0	△21	△0.1	△10
四半期純利益	1,673	5.9	1,763	5.9	90

7. 当第3四半期の経常利益増減要因 (前第3四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 生産金額 (量・価格含む) の増加	508	1. 原材料を含めた変動費の増加	△756
2. 割高な期末製品たな卸高による売上原価の引き下げ	333	2. 固定費の増加	△80
3. 為替差益	153		
4. その他	67		
計	1,061	計	△836
		差引	225